

「中国での交流を通して学んだこと」

国際医療福祉大学赤坂心理・医療マネジメント学部心理学科 1年

中館和佳奈

この度は大変貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございました。私達を温かくもてなしてくださった浙江省人民対外友好協会の皆様、並びに今回の訪問を企画しサポートしてくださった栃木県日中友好協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は今回、中学校、高等学校の書道部でお世話になりました塚原秀巒先生のご紹介を受け、栃木県青年友好交流訪問団に参加させていただきました。これまで、家族としか海外へ出かけたことがなく、また中国への訪問は今回が初めてだったため、不安もありましたが、栃木県日中友好協会の皆様をはじめ、団員の皆様が支えてくださったおかげで、楽しくそして実りある6日間を過ごすことができました。

今回の訪問で印象に残ったことは 3 日目の湖州師範学院での交流会と、浙江省の方々が開いてくださった歓迎会、そして 5 日目に訪れた蘭亭で書道を披露させていただいたことです。

3日目での湖州師範学院では、学生同士、対面で交流をしました。湖州師範学院の大学生は日本語学科で日本語を学んでおり、とても流暢に日本語を話していました。日本のアニメやドラマが好きで日本語に興味があり勉強しているそうです。また、好きな音楽の話をしたり、歌を披露してくれたりしました。私も、書道を披露させていただきました。初めてお会いしたにもかかわらず、気さくに話しかけてくれて、とても嬉しかったです。外国の方とこのように交流するのは初めての経験で少し緊張しましたが、あっという間の楽しい時間でした。

その日の夜に行われた歓迎会では、福井県代表団と合流し、浙江省の方々と交流をしました。私は、同じテーブルの 2 人の中国大学生とお話をすすることができました。話をして驚いたことは、日本語の「ぶかぶか」「さくさく」などの擬態語や擬音語が難しいと話していました。私達は、実際には音のしない状態や心情の様子を音に例えて表現する擬態語や、実際の音や声を言葉で表現する擬音語を使います。日本人が日常使っている言葉でも、すべての国に共通で認識されるものではないのだと、初めて実感した瞬間でした。「ぶかぶか」「さくさく」といった言葉はどのような意味なのか、またどのような場面で使うのかを改めて説明するのはとても難しかったですが、皆でなんとか中国の方に伝えようとする時間がとても楽しく感じられました。相手を知ること、相手に伝えることはとても大切なことであり、これから的生活の中でも常に意識してみたいと思いました。歓迎会はあっという間の時間で、名残惜しく感じましたが、再会を約束してお別れをしました。私にとっては、

貴重な経験となり、大変勉強になることが多かった 1 日となりました。今回連絡先を交換することができた学生さんとは、ぜひ交流を続けることができたらいいなと思います。

5 日目には、紹興市にある蘭亭を見学しました。小学1年生の頃から書道を続けているので、とても興味がありました。王羲之が実際に曲水の宴を行ったとされている蘭亭は、とても優雅で心が落ち着くような場所でした。そのような神聖な場所で書道を披露させていただき、一生の思い出となりました。

これ以外にも、中国の食文化、筆や絹やお茶などの様々な文化に触れることができました。お店の方々も、優しく接してくださり中国に訪問する前と印象が大きく変わりました。夜に街を歩くと、きらびやかに輝いた大きいビルが立ち並び、コンビニエンスストアや夜市などを訪れると日本とはまた違う雰囲気があり、とても魅力的でした。観光名所だけではなく、現地の街並みを、身を以て体験することができ有意義な時間でした。

今回、中国を訪問して感じたことは、日本で報道されている中国だけしか知らない自分がいたことです。私の中国に対するイメージは、この訪問を通して大きく変わりました。是非、多くの人に中国の魅力を伝えたい、それが今の率直な気持ちです。様々な人と交流し、お互いに理解することで、より良い関係を築くことができるのではないか。直接目で見て感じて文化に触ることは、コミュニケーションを図る上で重要なことであると考えます。今回の訪問で学んだ多くのことを、今後の学業や生活に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けてくださった皆様、また、共に旅をしてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。